

学校ニュース



藤沢市民会館での交歓

修学旅行の藤沢市と

ミドリノ交歓

日光へ来る修学旅行生が、記念植樹などで交歓をはかることは、いままでに何度もありますが、今度は、日光からの修学旅行で、記念の樹木を交換したお話。

神奈川県藤沢市は、江の島などへの日光からの修学旅行で毎年お世話になっているところ。「海と山の友情を……」という星野市長

の発案で、ことしの修学旅行(市内の小学校六年生三百八十九人)に、日光から、県木「栃の木」(四年生マロニエ)と、日光の銘花「ニッコウキスゲ」(三年生)を各三十本持参して、藤沢市に贈りました。藤沢市では、伊草助役がこれを受け取り「大切に育てます。日光市とは、末永く親睦を続けましょう」と思わぬ贈物に大喜び。返礼に、藤沢市の花「フジ」(三年生)三本をいただきました。ニッコウキスゲの花が、海の都市藤沢市に毎年咲き続けることでしょう。



市長・教育長と六人の良い子

六人の良い子が鳥島へ

「子どもの船」に参加

国際児童年を記念して、海のない栃木県の児童生徒に、海洋航海を体験させ、船内学習と規律ある団体生活を通じて、自己啓発、心身の鍛錬、連帯感の高揚などをはからうと「栃木県子どもの船」という事業が行われました。

この船には、日光から六人の良い子が選ばれ、六月二十二日から

スポーツ少年団

陸上競技大会

スポーツ少年団陸上競技大会が、市内小・中学校の児童と生徒を集めて、六月一日、日光中学校で行われました。

大会は天候に恵まれ、父兄の声援を背にした選手たちは、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、昨

小・中学生はインベーダーゲーム禁止

青少年の間でブームをよんでいるインベーダーゲームは、子供たちの小遣い以上に費用がかかるため、ゲーム代ほしきの非行が全国でひんぱんに発生しています。

日光市小・中学校の校長会では、臨時校長会を開き「インベーダー

ゲーム」について検討したところ、インベーダーを含むテレビゲームを備える施設での小中学生の遊戯を禁止することにしました。

インベーダーゲームなどを禁止する理由は、次のとおりです。
①金銭に対する価値感を失わせ、

子供に浪費ぐせを増大させる。
②子供たちの小遣い以上に費用がかかる場合が多く、ゲーム代ほしきから非行に走りやすい。

③お金の貸し借りをはじめ好ましくない行いが生じ、子供たちの規則正しい生活がくずされていく。

④発育期の子供たちの健康を害するおそれがある。
子供たちをインベーダーゲームから守るためには、家庭内での対話はもちろんのこと、地域ぐるみで健全な遊びやスポーツを指導することが大切です。



陸上競技大会風景

年を上回る好記録をだすなど大変盛況でした。
この大会は今年で九回を数え、子供たちのスポーツ振興に、大いに役立っています。

三日間、につぼん丸(九七四五)に乗って、東京港から出発、八丈島付近を通り、鳥島周辺までの往復の航海を元気に過ごしました。
参加したのは、小金山貴弘君(中宮中一年)丹治信也君(東中一年)神山紀子さん(日中一年)寺村直人君(日小六年)大屋麻樹さん(安良沢小六年)亀山典枝さん(小来川小六年)の六人で、出発の前日、市役所を訪れ、市長に、市長からは、元気に、良い体験をしてきてくださいと激励されました。